

保護手袋着用



注意

商品を取り出すとき、施工するときは、切断面に触れると手を切る恐れがありますので注意してください。

(一財)建材試験センター 性能試験済
中柱型 短期基準引張耐力：24.5kN
試験番号：第14A3550号

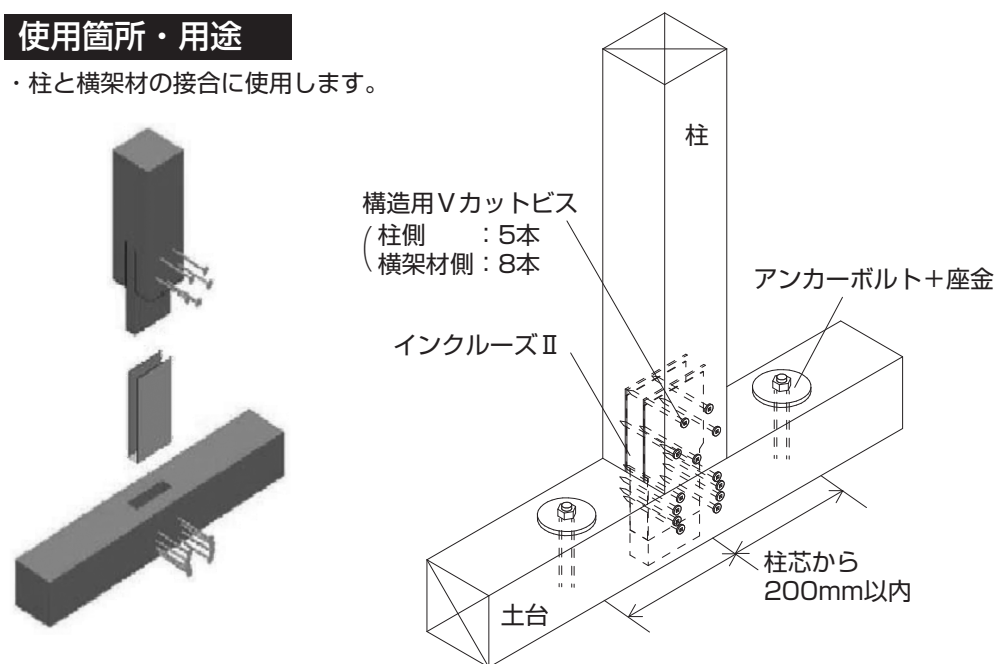
■使用上のご注意

インクルーズⅡの使用にあたっては、必ず本マニュアルに基づいて施工してください。

- 1) 金物及び接合具(ビス)は指定の用途以外には使用しないでください。
- 2) けが防止のため手袋等をはめて作業してください。
- 3) 腐朽、腐食、湿った木材への取付けは避けてください。
- 4) 金物取り付けの際、安全を考慮した姿勢と足場を必ず確保してください。
- 5) ビスを施工する際には以下の点にご注意ください。
 - ・バッテリー式インパクトドライバーをご使用ください。コード式、エアー式は使用しないでください。
 - ・金物面に対して垂直に施工してください。斜め打ちはしないでください。
 - ・一度ねじ込んだビスを抜いて、再使用はしないでください。
 - ・堅木、木材のフシ部分への施工の際は、下穴をあけてからねじ込んでください。
- 6) 使用する樹種及び断面は、オウシュウアカマツ構造用集成材E95-F315以上、105mm角以上としてください。
- 7) 上下階の柱が同じ位置でほぞ穴を共有する場合には、横架材の梁せいは210mm以上としてください。
- 8) 横架材が十字形状に交差している部分には使用できません。
- 9) インクルーズⅡを入れた柱脚には必ずアンカーボルトを設置してください。(インクルーズⅡ中柱は柱の両側にアンカーボルトを入れてください。)
- 10) インクルーズⅡに使用できる筋かい金物はリベロタイプ(L型で横架材から浮かせるタイプ)をご使用ください。また、取付け高さはインクルーズⅡ本体やスリットよりも高い位置としてください。ボックスタイプの筋かい金物は、スリットやインクルーズⅡ本体とビスが干渉するため使用できません。
- 11) 他の柱接合金物との耐力の足し合わせはできません。(基礎からアンカーボルトで直結されたホールダウン金物との耐力の足し合わせについては設計者判断とします。)
- 12) 屋外に暴露される環境には使用できません。

使用箇所・用途

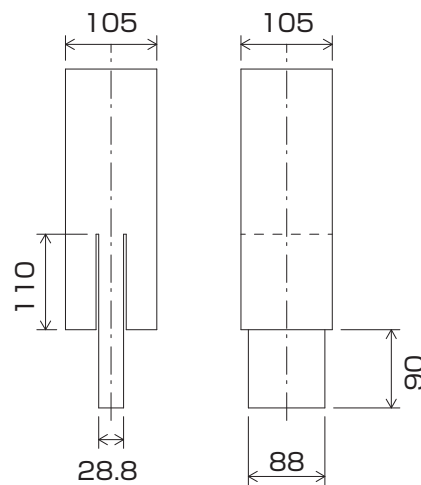
- ・ 柱と横架材の接合に使用します。



材の加工寸法

柱の加工（中柱）

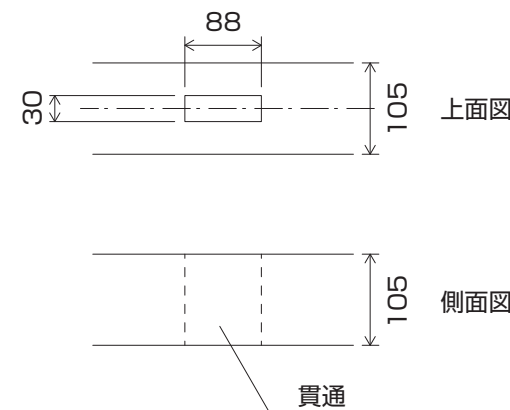
105材の場合



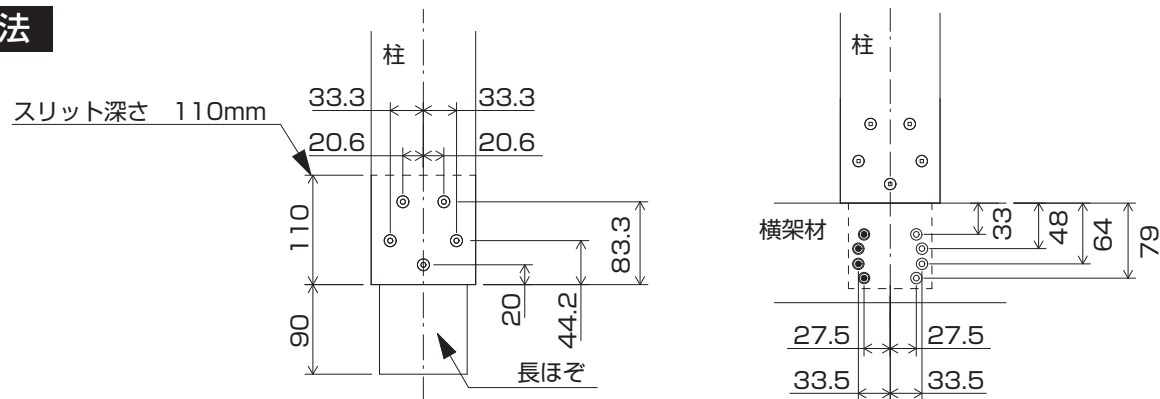
※スリット幅は1～3mm

横架材の加工（中柱）

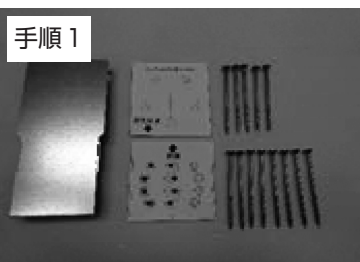
105材の場合



インクルーズⅡのビス位置寸法



インクルーズⅡの施工方法



梱包内容
 ・本体：1個
 ・シール：各1枚
 ・専用ビス：13本



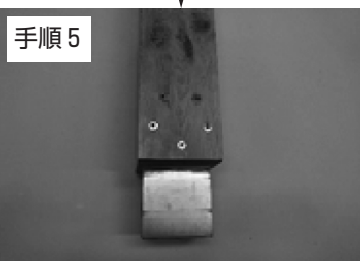
手順2
 専用に加工した柱に
 インクルーズⅡをセットします。



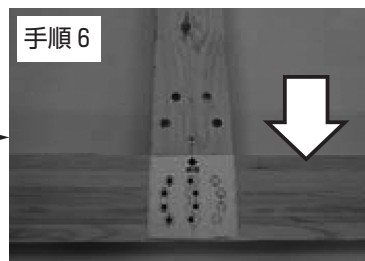
手順3
 柱の端部に柱用シールの向きを
 合わせて貼り付けます。



手順4
 柱用シールの上から専用ビスを
 施工します。



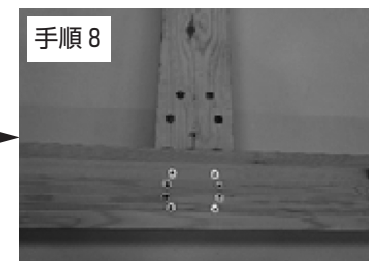
手順5
 ビス5本施工後にシールをはがし
 ます。



手順6
 専用に加工した横架材のほぞ穴に
 インクルーズⅡを取り付けた柱を
 挿入します。



手順7
 柱の位置に横架材用シールの向き
 を合わせて（横架材上端合わせ）
 貼り付け、専用ビスを施工します。



手順8
 ビス8本施工後にシールをはがし
 て完了です。

接合金物の使用方法や納まりなど
 木造建築金物の施工に関するお問い合わせはこちらまで



株式会社 タナカ

（連絡先）CSセンター フリーダイヤル 0120-558-313
 （受付時間）平日 9:00-17:00
<https://www.tanakanet.co.jp/housing>